

1面 夏休みは紙の博物館で学ぼう! 遊ぼう!  
紙の博物館の夏休みイベント  
ASAHI BOOK PRESENT

2面 特別寄稿 朝日新聞記者の目  
脱北者  
朝日新聞社 牧野 愛博  
朝日新聞の6月24日付け朝刊でもお伝えし

た通り、5月24日午後、私はロシア・シベリアで北朝鮮を脱出した元伐採工に会った。極東に広がるアカマツやカラマツを伐採する仕事は1960年代から90年代にかけて盛んに行われた。北朝鮮からはハバロフスク近くの伐採場などに最大時で2万人規模の伐採工が送り込まれたという。

毎日が、散歩の途中<sup>33</sup>  
夏は自然のなかで  
文と絵/岡本 杏子

町ネタ東西南北

2面-4面 shoppin navi.  
志朗後援会事務所/そら整体院/美容整体サロン アンシェリーナ/憩空間 ふらの本舗/ECCジュニア田端銀座教室/学習塾 本駒会/たけだ整骨院・鍼灸マッサージ院/オフィス染井/エルミタージュ香味/美容室 ミディー/鴨家ぶどう/龍 敬子ギャラリー/日本シェルトー東京本社

次号『北の手かわら版』長月号は、8月26日(日)の発行予定です。

# 夏休みは紙の博物館で学ぼう! 遊ぼう!



紙の博物館 (飛鳥山公園)

7月1日(日)より始まった飛鳥山公園の紙の博物館の企画展「夏の紙知(シ)リース 記録と紙く紙に記す」は、夏休みに合わせて、「子ども向け」として、4階の展示会場には、ゲームなどの仕掛けがなされてはいるものの、その展示内容は大人の身からも決してあなどれない壮大なテーマに貫かれている。

「有史以来」という言葉遣いがあるように、人類の歴史は記録されることで発展してきた。「文字」と「書写」そして媒体となる「書写材料」の7000年にわたる展覧が、本企画展の醍醐味だ。

取材に当たってご案内いただいたのは、紙の博物館学芸員で本展の企画・構成と運営を担当する平野祐子さん。その懇切丁寧で学識豊かな解説をいただいて、数々の新発見を啓かれた。

まず紀元前3000年頃のエジプトの「パピルス」は、英語のPaperの語源でありながら、「紙」の定義からは外れたものであること。

「紙」以前の数々の書写材料で、例えば中国の「木簡」に書かれた「史記」などは、移動に荷重何台も要したこと。

インドや東南アジアなどの「ばらいた(貝多羅)」が示す、独自の文明の興行と拡がりなど。

時空を超えた展示と解説に、近年にない感動を覚えた。



さまざまな書写材料のイメージ



徳川吉宗の黒印状 1721年(享保6)

また数々の考古学的な成果が、従来の「紙」や「書写材料」の通説が覆されつつあること。わが国では唯一、中央区所蔵の江戸時代初期に埋葬された「こけら経」という「木簡」の紹介など、貴重な展示物を見られることも、本展の醍醐味である。

さらに明治維新後、伝統的な和紙に取って代わった洋紙の特長や、イスラーム社会で認められるに至ったわが国の製紙技術など、本展の意義は尽きることはない。

平野さんは、「紙の発明や記録用の紙がどんなに優れているか、ぜひ親子で考える機会にしたい」と呼びかける。

「夏の紙知(シ)リース 記録と紙く紙に記す」は、9月2日(日)まで開催されている。

(取材協力・資料提供)公益財団法人紙の博物館

## 紙の博物館の夏休みイベント

遠くまで出かけなくても手近なところで遊びながら学ぼう! 紙の博物館では、夏休みの自由研究にも役立つ楽しいイベントが目白押し。事前申込み受付中なので、いまずぐお電話を!!

### やさしい教室「紙を知ろう」

紙の基礎やリサイクルについて学び、ハカキづくりを体験します。

2012年8月2日(木) 13:30~15:00  
入館料のみ  
当館学芸部長 辻本直彦  
40名(小学4年生以上)  
お申込は☎3916-2320まで



### 野菜から紙をつくろう

身近な野菜を原料にして、紙づくりに挑戦します。

2012年8月16日(木) 13:30~15:30  
100円(入館料別)  
当館学芸員  
10名(小学4年生~中学生)  
お申込は☎3916-2320まで



### 牛乳パック工作

牛乳パックを使って、びっくり箱を作ります。

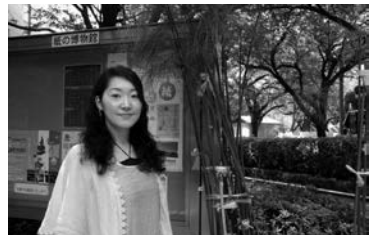
2012年8月23日(木) 13:30~15:00  
入館料のみ  
当館学芸員  
15名(小学生以上)  
お申込は☎3916-2320まで



※お申込は当館ホームページ (<http://www.papermuseum.jp/event/>) から可能です。開催間際のイベント申込はお電話が確実です。なお、好評な「紙すき教室」は、毎週土曜・日曜13:00~14:30(所要時間10分程度・入館料のみ) 随時参加できます。

ご案内いただいた紙の博物館学芸員の平野祐子さん。企画展「記録と紙く紙に記す」の企画・展示を担当。紙の博物館エントランスの「パピルス」の木の前にて

公益財団法人紙の博物館  
〒114-0014 北区田端3-1-1  
13 (飛鳥山公園内)  
開館時間 10:00~17:00  
(入館は16:30まで)  
休館日 月曜日(祝日の場合は開館)、祝日の翌日、年末年始  
入館料 一般300円/小中高生100円(団体割引有り)  
飛鳥山3つの博物館共通券等あり



## 今 話題の新刊を 抽選で合計20名様に プレゼント!

〈朝日新書〉  
**モメない相続**  
長谷川裕雅著  
定価756円

〈朝日文庫〉  
**かーかん、はあい**  
子どもと本と私  
俵万智著  
定価546円

相続では大半の人が「モメるポイント」をわかっていない。数多くの相続を見てきた弁護士著者が、独自の視点で「モメる相続」を三つのポイント別に解説する。

【応募方法】〒住所、氏名、年齢、電話番号、書名1点を明記の上、はがきで〒104-8011(所寄地不要)朝日新聞出版販売部直伝課「M103」係へご応募ください。7月31日(火)消印有効、8月上旬発送。当選者の発表は発送をもってかえさせていただきます。

※お送りいただいたはがきで皆さまから提供された個人情報、厳重な管理の下、朝日新聞出版の商品紹介に利用させていただきます。